

平成28年度第1回山梨県がん対策推進協議会会議録要旨

- 1 日 時 平成28年7月4日（月）午後3時～4時30分
- 2 場 所 県庁防災新館 409会議室
- 3 出席者（委員21人中20人出席）
石原委員、大西委員（代理小宮山氏）、長田委員、小澤委員、小野委員、
小俣委員、樫本委員、窪川委員、佐藤委員、嶋田委員、長沼委員、中村委員、
藤井委員、古屋委員、星野委員、三森委員、望月委員、許山委員、依田(一)委員、
依田(芳)委員
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) あいさつ
 - (3) 議事
 - 1) 平成27年度がん対策事業報告について
 - 2) 山梨県がん対策推進計画（第2次）の進捗状況及び
平成28年度がん対策事業概要について
～山梨県がん対策推進計画（第2次）数値目標一覧及び目標達成状況～
～平成28年度がん対策事業～
 - 3) 地域がん登録から見た統計について
～人口動態統計及び地域がん登録罹患集計～
～発見経緯と臨床進行度～
 - 4) がん登録の活用に向けて
 - 5) 関係団体・機関の取組状況について
 - ・山梨県がん診療連携拠点病院連絡協議会
 - ・山梨県教育委員会スポーツ健康課
 - ・山梨県福祉保健部医務課
 - 6) その他
 - 7) 閉会

5 議事概要

- 1) 平成27年度がん対策事業報告について
- 2) 山梨県がん対策推進計画（第2次）の進捗状況及び平成28年度がん対策事業概要について

～山梨県がん対策推進計画（第2次）数値目標一覧及び目標達成状況～

～平成28年度がん対策事業～

○事務局説明

《資料1・2－1・2－2》

○主な発言内容

<A 委員>

- ・がん医療の充実、他職種でのチーム医療での周術期の口腔ケアについてご理解していただき連携・推進している。その中で現在七つの病院と連携の協定を結んでいるが、実際の具体的な連携状況を把握するすべがない。例えば数値目標として評価するならば、医療保険の周術期口腔基本管理料を調べる取り組みができないかお聞きしたい。
- ・もう一点、さまざまながん予防の取り組みが報告されているが、歯科医師会でも歯周病と喫煙との関連がある研修会や在宅緩和ケアに対する口腔ケア研修会を行っている。他部署で行っているがん予防推進活動等も含めた方が良いのではないかと。

<事務局>

- ・周術期の項目をどういうふうに評価していくのかというのは非常に重要なことだと。また御意見をいただき少し整理をしていきたい。
- ・取り組みの内容についてはこのアクションプランの中でなるべく広い範囲にわたって包括的にお示しできるような形でさせていただいているところ。歯科に関してさらに追加する必要があるかどうかというところも、また内部でも改めて検討したい。

<座長>

- ・タバコについてはいかがですか。

<山梨県教育委員会スポーツ健康課>

- ・禁煙週間等の広報活動、肺がん検診の推進のためCTを導入し早期がんが発見されている。これからもCTに関しては推進していきたい。

<座長>

- ・学校教育の中での禁煙対策についていかがでしょうか。

<山梨県教育委員会スポーツ健康課>

- ・全県下の小中高すべての学校で敷地内禁煙を実施
子ども達へは学習指導等を通じて、がん教育を通じた中での禁煙、飲酒について学習している。

<座長>

子どもへのがん教育が親の教育効果となるため推進をお願いしたい。

<座長>

- ・がん拠点病院で小児がんへの取り組みの必要性について話があった。山梨県は数が少ないが努力を続けるべきである。小児AYA世代のがん、希少がん対策への取り組みについては、最近のがん研究の中で非常に予後が悪い遺伝子異常も発見されていることから、がん拠点病院としての取り組みとしても考えていく時代になっていくのではないかと。

<B 委員>

- ・28年度から国庫補助対象でなくなった検診台帳整備を行わない市町村があるとのことに対し、補助が終わったから行わないというのではなく重要なこと。

<事務局>

- ・受診率を正確に把握していくのは非常に難しい課題だが、方法等について今後各市町村の担当の方とも相談させていただきたい。

3) 地域がん登録から見た統計について

～人口動態統計及び地域がん登録罹患集計～

～発見経緯と臨床進行度～

○事務局説明

《資料3-1・3-2》

○主な発言内容

<座長>

- ・がん登録では罹患率・死亡率・生存率が出る。医療機関にかかった時の5年生存率もがんセンターの統計として公表された。その中でいったいどこに重点を置くべきかがだんだん見えてくる。ここには色々な領域のご専門の方々がいらっしゃるので、このデータを見てどんなことをお感じになったかご発言を。

<C 委員>

- ・大腸がんの検診での発見経緯が少ないが粘膜内視鏡的な処置に入っていないのか

<事務局>

- ・がん登録は、データを処理により変わってくる。例えば粘膜切除をされるようながんというのは上皮内がんの事が多く、上皮内癌となるが国の集計のデータでは上皮内がんを入れていない。今回の山梨県のデータも上皮内がんを含めていない。

<C 委員>

- ・上皮内がんを含めず評価すると、例えば大腸がん検診は過小評価となる。検診の効果という視点では、上皮内がんを含めた評価の検討も必要ではないか。

<座長>

- ・大腸がんに関しては、死亡率も罹患率も右肩上がりになっているのが気になる。他には。先生、肺がんはいかがですか、よろしいですか。

<C 委員>

- ・肺がんの発見時に進行がんが半分以上という現状から、肺がんは早期がんの検診の限界がある。発見の問題、治療の問題の改善に期待している。

<D 委員>

- ・肺がんが進行がんで見つかる要因の1つに、高齢者のがんの増加がある。早期がん（小さながん）の発見ではCT検診であるため、治療の段階、発見の段階での対策を考えていかなければならない。

<座長>

- ・山梨県はC型肝炎とか日本住血吸虫病の頻度が高いため、腹部の超音波等画像診断を早めに入れた。山梨県の画像診断、特に腹部超音波早期導入は非常に効果があった。
- ・肺がん検診のCT検診を行うとしたら根本的な見直しとなるがどうか。

<事務局>

- ・肺がんは確かに検診で見つかったものに関しても50%を超える方は早期がん以外で発見されているという状況がある。そういう意味では検診の方法について検討を加えるというのは一つの手段だと思う。CT検診の有効性とその副作用等あるため、こういった形が適切なのかという所も含めてよく考えていく必要性はある。

<座長>

- ・山梨のがんの状況は悪くないが、隣県の長野がさらに良い。長野はいったいどのような対策をとっているのか。

<事務局>

- ・長野県がいいという状況に関しては1年だけではなく、ここ5年1位の状況今回は全国の値と比較して分析しているが、例えばがん登録のさまざまな情報を長野県などの先進県と比較し本県がどのような対策が必要か検討していくことも考えている。

4) がん登録の活用に向けて

○事務局説明

《資料4》

○主な発言内容

<E 委員>

- ・検診の受診率の算出方法の課題を市町村にも理解していただくことが必要。がん検診で早期発見することの重要性がわかるデータであるため、普及活動に活用して欲しい。またこのデータを活用し検診未受診者を重点的に働きかけることが重要。
- ・検診の受診率だけではなくて市町村ごとの年齢調査死亡率を出し検討していく必要ではないか。

<事務局>

- ・市町村ごとのデータを適切に算出する必要性はある。本県は数が少ないため例えば三年間を合わせる等工夫できる部分と限界がある部分を明確にしたい。

<E 委員>

- ・標準化死亡率（SMR）指標での分析も検討をお願いしたい。

<事務局>

- ・標準化死亡率（SMR）指標での分析も一つである。今後もさらにどの指標をどのように使って対策を進めていくのか絞り込む必要があるため、今回のように分析した方が良い指標を教えていただきたい。

<D 委員>

- ・がん検診の受診率が市町村によって著しい差がある。がんの死亡に有効性がある市町村におけるがん検診の導入が必要である。そのためにはがん登録を活用したがん検診の体制整備を県が指導し行っていただきたい。

<F 委員>

- ・市町村においても受診率を上げることが特命事項でありご指摘の通り有効性のあるがん検診を行っていきたい。例えば胃がん検診について国の指針が改定され今まではレントゲン検査のみから胃カメラも推奨された。市も胃カメラの導入を検討しているが県内の検診機関、医療機関の受け入れ態勢など手探りでやっている。例えば県の方で調査等していただきたい。精度管理も含めて一つの市町村で行うのは困難である。よろしくお願いいたしたい。

<座長>

- ・ありがとうございました。よろしくお願いいたします。データの活用ということのでぜひご協力いただければと思います。
- ・他に何かございませんでしょうか。なければ次へよろしいですか進んで。次はですね今日は、関連の関係団体の方が来ていらっしゃるのそこへ進んでよろしいでしょうか。
- ・次は山梨県のがん診療連携拠点病院連絡協議会について、また新たに全体目標となったがんになっても安心して暮らせる社会の構築という一つの基盤となる在宅医療施設についての取り組みなどご説明していただきます。では先生の方からよろしくお願ひします。

5) 関係団体・機関の取組状況について

- ・山梨県がん診療連携拠点病院連絡協議会
- ・山梨県教育委員会スポーツ健康課
- ・山梨県福祉保健部医務課

○ 関係機関説明

《資料 5-1・5-2・5-3》

○ 主な発言内容

<E 委員>

- ・がん教育の教材の中には検診のすすめ（検診で見つける早期発見の必要性）は入ってるか。

<山梨県教育委員会スポーツ健康課>

- ・検診の情報と県内の市町村の検診状況について情報提供している。

6) その他

<G 委員代理>

- ・山梨大学の方にPETセンターを敷地内に来年春の予定に準備を進めている。
今後がん診療において各拠点病院から依頼とかある場合、診療情報とか最低限のFAX、画像情報等共有できるような形でのネットワークやサーバーでがあるとスムーズに依頼や画像の閲覧や情報の交換ができると良い。大西の方から伝言で承っておりますけどもお願いできますでしょうか。

<座長>

- ・時間がちょっと15分ほどオーバーしていますので、承るということによろしいでしょうか。

<事務局>

- ・はい